

出テ附屬地ニ達セシメントスルモノニシテ目下
既ニ停エセリト呈モ其ノ竣成セルモノニ付
テハ之ヲ撤去セシメ國約ヲ維持シ而シテ市
權ヲ保持スヘキモノト思惟シ報告スル
モノナリ云々ト……依テ查スルニ該日本電話
局カ城關ニ電話線ヲ架設スルコトハ實ニ
條約ニ違ヒ理ニ背キ我市權ヲ侵スモノニシ
テ若シ之ヲ撤去セシメサレハ將來如何ナル
侵畧ヲ受クルヤ計リ難キヲ以テ嚴密ニ
防止シ以テ再ヒ斯ル事ナカラシムヘク轉
令スルト共ニ具文呈報シ御鑒査ヲ請フト
ハ、四

S. 1.1.1.0 - 64

461

0572

コト依ツテ呈報ノ趣承知シ特派員ヲシテ日
本領事ニ嚴重交渉セシメ以テ市政ヲ維
持スル旨指令スルト共ニ該員ニ令スルモノニ付
遵照辦理シ具報スヘシ此ニ令ス

462

0573

六三月二十三日外交部ヨリ日本附屬地ノ地圖作製
方東北政務委員會宛電命

東北各地ノ日本租界ハ年久シキニ及ヒ其ノ占ム
ル處ノ面積並ニ其周圍等考査スル能ハザ
ルカ本部ハ目下他日ノ回收準備ヲ審査シツ
ツアルニ付各省ニ命シ各租界ノ
(一)原有名稱及現在日本カ改メタル名稱

S. 1.1.1.0 - 64

(一) 面積及周囲ノ關係

(二) 租借地ニ在ル森林河川及庵觀、寺院、古墳並ニ人民私有ノ墓地等ノ有無等ヲ詳細

ニ記載シタル地圖ヲ作成シ之ニ説明ヲ附

シ期限ヲ定メ報告審査ニ資セラレ度シ

七月十二日遼寧省政府ヨリ中央政府ニ呈請セ

ル法權回收ニ關スル意見

一 即時領事裁判權ヲ撤廃スルコト

一 租界租借商埠地ヲ回收スルコト

一 内河航行權及沿海貿易權ヲ回收スルコト

一 各國ノ在華駐屯兵ヲ撤退セシムルコト

ハ、五

一 完全ニ關稅自主ヲ主張スルコト

一 電信權ヲ回收スルコト

八月二十六日遼寧省郵務管理局局長ノ各縣郵

政局ニ對シ日本郵政權侵略有無調査通令

復州灣郵政局長ノ報告ニ依リハ同灣鎮西

四十里ヲ距ル交流島五島ハ元我領土ナリシ

也日露戰役後日本統治下ニ移リ現在ニ於

テハ島民數千名居住シ居ルカ日本ハ官署

ヲ設置シ普蘭店郵便局ヨリ平常三人ノ配達夫

ヲ以テ島民ノ郵便ヲ取扱ハシメ居ルノミナ

ラス該配達人ハ我中國管内長途百二十里ヲ往

來シ其ノ沿道ニ於ケル我中國民ノ郵便ヲモ取扱
ハシメツツアリト云フカ之正シク我郵政權ノ侵害ニ
シテ其他此種郵政權ノ侵略ハ各地ニ於テモ行
ハレツ、アルモノト思料サレルヲ以テ速ニ侵略
事實ノ有無調査ノ上報告スヘシ 當管理局
ハ各縣ノ報告ヲ俟ツテ之ノ對策ヲ講セントス
九、八月中遼寧外交特派辦事處ヨリ各縣政府宛
國際宣傳部組織計畫ニ關スル通令
中央外交部ノ通令ニ基キ茲ニ令ス 南京ニ於
ケル愛國ノ志士ハ教育、商工各團體ト聯合
シ國際宣傳部ヲ組織シ孫總理ノ遺訓ニ遵

S. 1.1.1.0 - 64

465

(0576

世界各國ノ我ニ對スル不平等條約ヲ撤廃シ弱
小民族ノ被壓迫ヲ脱シ中華民國ノ地位
ヲ昂メ帝國主義ヲ排撃スヘク國際的ニ宣
傳ヲ行フコトナリシヲ以テ各縣政府ハ所屬
ハ教育、商工各機關中ヨリ眞ノ愛國ノ士ニシテ
外國人ニ親シマス品行端正ナル者四名ヲ選
定シ國際宣傳部委員ヲ舉ケ被推薦委員
ハ之ヲ党部ニ入党セシメタル上其ノ氏名年
令略歴等報告シ以テ考查銓衡ニ資セラレ
度シ

S. 1.1.1.0 - 64

466

(0577

第九 日本、滿蒙侵略事案普及ニ關スル件

二月十五日遼寧省政府ヨリ各學校ニ對シ精神教育ニ排外思想

注入方訓令

國民政府教育部ノ密訓ニ按スルニ列國ハ務内強食ノ
野心ヲ以テ中國ニ對シ國權侵害ヲ爲サントシ必要都市
ニ外國領事館ノ新設運動或ハ鐵道延長・通商條約
ノ締結ヲ更新スハク外交交渉頻繁ナルノミナラス外
國人ハ巧妙ナル手段方法ヲ以テ中國人ノ奸商ヲ買収
シ中國利權侵害ノ諸施設ヲ爲スモノ益々激増スルニ
鑑ミ國民政府外交部ノ方針トシテ賣國的行為
有タル中國人ヲ嚴重ニ取締ルト共ニ一般國民ニ對

九ノ一

S. 1.1.1.0 - 64

467

(0578

シ防外思想宣傳ノ爲各縣教育局長ハ縣内各區
高等小學以上ノ各教育機關ヲシテ精神訓誥
修身及其他ノ時間ヲ利用シ左記各項目ヲ要旨
トシテ排外思想宣傳講話ヲ爲スヘシ

一 列國ノ對中國侵略ノ現勢

二 列國ノ對中國侵略ノ方法

三 中國ニ於ケル外國租借地ノ狀況

四 中國ニ於ケル外國軍勢ノ狀況

五 中國ニ於ケル外國鐵道敷設狀況

六 南滿鐵道沿線ニ於ケル外國教育機關ノ增加狀況

七 外國ノ中國經濟壓迫狀況

S. 1.1.1.0 - 64

468

0579

ハ外國人口並外人ノ商業狀況
北國恥念日

其防思想宣傳ノ資料

二月五日蓋平縣長ノ各團體幹部及有力者ニ對スル訓示

最近我國ノ政治ハ漸次改善セラレ對内對外ニハ稍

充實シ何等憂フル處ナキニ至レリト雖尚對外治

ニ各種ノ交渉問題未タニ懸案トナリ居ルモノ多ク

目下中央當局ニ於テ之ガ解決ニ奔走中ナルカ就

中最近我國ノ排除困難トスル處ハモノハ日本帝

國主義ノ侵略ニシテ日本ハ我東北ニ蟠踞スルコト

幾久シク多數母國民ヲ送り過去二十有餘年ニ亘

九ノ二

リ莫大ノ資本ヲ投シテ我滿蒙ノ地ニ進出し今

彼之ヲ併吞セントシテ獨リニ陰謀ヲ廻ラシ居レ

ルカ近日赤中國各新聞ノ報道スル如ク治外法權

撤廢ニ關スル交渉問題ニ於テスラ表面至極穩

和ノ態度ヲ以テ應侍シ居ルモノノ如クナルモ其ノ

實裏面ニ於テハ頗ル強硬ナル態度ヲ持シ毫

モ讓歩スル處ナクシテ日一日ト險惡ノ氣漲リ前

途大ニ樂觀ヲ許ササル情勢ニ在リ尚一面水村

滿鐵理事ノ我奉天當局ト交渉中ノ並行線問題

ニ於テモ自己ノ大失當ナリシコトヲ顧ルコトナク

只條約ヲ盾ニシ強硬ナル抗議ニ出テタル力如キ

S. 1.1.1.0 - 64

470

(0581

S. 1.1.1.0 - 64

469

(0580

實ニ暴戾極リナキモノアリ 尚在日水政府野党ハ
 滿蒙積極政策ヲ主張シ盛ニ現政府ノ對滿蒙
 外交ノ失敗ヲ痛撃シ居レルカ 若シ日本政府ニ於
 テ如斯野党ノ主張ヲ容ルルニ於テハ中日第二次
 大戰ノ勃發スルハ必然ニシテ東北四省下ハ戰
 場化シ我地方モ亦戰禍ヲ免レサルニ至ルヘシ
 爰ニ於テカ我同胞ハ速ニ猛省ヲ爲スト共ニ今次ノ
 交渉ニ對シテハ毫モ輕視スルコトナク 吾人モ國家
 構成ノ一分子タルコトヲ自覺シ緊禪一齊國家ノ爲
 メ團結以テ外交後援ノ實ヲ舉クヘキナリ云々
 三月中銓寧教育廳ノ各縣教育局宛國恥歌送附

九ノ二

國恥歌

一 同胞同胞奮起セヨ 我中國ニ歎ケル
 多ク要港ヲ分奪サレ 婦女ヲ奴隷トス
 振面奪取ノ爲メニ一致奮奮努力セヨ
 勵ムニ同胞
 二 同胞同胞國ヲ救フ 我中國ニ賣レタリ
 一彼朝鮮ノ婦女兒童ノ 奴隷ノ苦シキヲ看ミ
 振面奪取ノ爲メニ 一致奮奮努力セヨ
 勵ムニ同胞
 三 同胞同胞風々國ヲ救ヘ 我中國ニ占領サル
 旅順大連 台湾ト 蒙古滿洲モ其占領サレタ

S. 1.1.1.0 - 64

472

(0583

S. 1.1.1.0 - 64

471

(0582

挽回奪取ノ爲メ 一致奮奮努力セヨ
勸メヨ同胞 勸メヨ同胞

四五月中各縣教育局ノ遼寧國民常議促進會ヨリ致セル

國恥歌ヲ各學校ニ配布 歌

一歐洲各國大戦争 東亞ハ國ヨリ和平タリ

膠州戦争忽チ起ル 中立殆ト成ラス

山東半島戰場ト作ル 危機刻々トシテ生ル

嘆堂々中國忍氣涙ヲ吞ム

二可憐戰地中國民ハ 無法蹂躪サル

政府忍ヒス撤兵ヲ請フ 要求更ニ無情

日本ハ我ヲ戰場ト作ス 在界皆不平

九一四

嘆我龍々タル中國恥レテ軍隊ヲ以テ抗争シ得ス

三五月九日風雲急 最後ノ通牒来ル

我ハ四十八時間以内 全條ノ承認ヲ要ス

二十一ヶ條紀念 茲ヲ以テ條約ヲ訂決ス

嘆我四億同胞 茲ニ至リテ恥ルモ恥レラレス

四南滿旅大期限満期 飽迄返還ヲ拒絶ス

五月九日國恥生ル 返還ニ應セス

九十九年時勢ハ變化ス 雜居ハ此上ノ恥テアル

嘆四億同胞 之ヲ如何ト思フヤ

五山東福建ト東蒙ハ中國領土

五月九日國恥生ル 勢力擴大無窮

S. 1.1.1.0 - 64

474

0585

S. 1.1.1.0 - 64

473

0581

山東戰區猶語り得へき也 猶蒙ニ至リテハ無理ノ極

嘆我四億同胞 此上ノ甘夢ハ不可

六國民國民速ニ醒メヨ 國恥大悔ノ如ク察レ

五九定歩ホタ取消トナラズ大ナル野心ヲ抱キアリ

國家ノ興亡責ハ匹夫ニアリ 國人責任ヲ負担スヘシ

嘆我四億同胞ヨ 故ア今ヲヨシ

五育中總督教育局中央外事部^{海軍}總給ノ國恥講演要旨ヲ

各學校ニ送附方各縣教育局宛通令

講演要旨

我民衆ハ當ニ覺醒スヘキ秋ナリ 昭々日本カ我

ニ對シテ行ハ慶ハ奸手段ハ愈々益々積極トナリ我

九ノ三

獨蒙ヲ併吞シテ第ニノ朝鮮ヲラントシ我政府ハ

之ヲ阻止ニ死力ヲ盡シ外交手段ヲ以テ惱殺セラレ

居ルモ尚未タ其ノ善策ヲ得ス今ヤ東北ハ累卵ノ

危ニ瀕スル處ナルニ最近 國民政府高級偵探ノ

報告スル處ニ依レハ東北官僚ハ外ニ媚ヒ國民ハ日

本帝國主義ニ買収セラレテ日本ニ内應シ或ハ國產

寶藏ヲ盜賣シ或ハ國政ノ機密ヲ盜賣シテ我主

權ヲ侵害セシメツツアリ 實ニ恨ムヘク排敵ヲ期

スヘキハ之等官僚ト一般國賊ニシテ死ヲ期シテ打

倒セサルハカラサルハ日本ノ帝國主義ナリ之カ消滅

打倒ニ力量ノ大ヲ以テ當リ不平等條約ノ撤回國

S. 1.1.1.0 - 64

476

0587

S. 1.1.1.0 - 64

475

0586

威平等ノ域ニ到達セシメ得ル責任ハ一ニ青年學
徒ニ在リ青年學生諸子ハ第二ノ賣國奴トナリ
民族滅亡ノ因ヲ爲ス勿レ其ノ先輩ノ失敗セル
因ヲ究メ現下ノ狀勢ニ鑑ミ國恥ノ眞ヲ辨ヘ
帝國主義排撃ニ邁進其ノ身命ヲ惜ムヘカラス
六六月十六日遼寧教育廳ノ各學校職員ニ對シ排日書籍購
讀懲總方各縣教育局宛通令

書籍名

滿洲與日本（日本在東北橫暴史）

第一章

日本侵略滿洲の原因

第二章

日本侵略滿洲の動機

第三章

日本侵略滿洲の方式

九ノ六

第一節

武力

第二節

政治

第三節

經濟

第四節

殖民

第五節

文化

第四章

日本侵略滿洲領土の成績

第五章

日本在東北橫暴行爲

第六章

最近日本侵略滿洲の政策

第七章

滿洲與日本の將來

第八章

田中内閣侵略滿蒙奏章

S. 1.1.1.0 - 64

478

0583

S. 1.1.1.0 - 64

477

0583

第十 文化侵略防止ニ關スル訓令

二月十一日遼寧教育廳ノ日本經營學校
ニ支人入學阻止密令

南滿沿線各縣ノ子弟ニシテ日本公學堂ニ
入學スル者甚タ多ク本廳ニ於テハ屢々
法ヲ設ケテ回收ヲ圖リタルモ豪モ其効果
ヲ見サルハ遺憾ノ次第ナリ

查スルニ日本カ公學堂ヲ設置シタル根本
精神ハ我中國子弟ヲ養成シ日本ニ隨從
セシメ遂ニハ自ラ中國ニ主タントスル所謂
奪主政策ヲ用ヒ居レルモノニシテ人ヲシ

テ畏怖セシム若シ之ヲ阻止セサレハ即チ教育
ノ前途憂慮サルルヲ以テ各縣教育局ニ於テ
ハ生徒募集期前ニ局員ヲ各戸ニ派シテ學齡
兒童ヲ調査シ若シ公學堂ニ入學志望者ア
リタルトキハ努メテ中國學校ニ入學セシムヘ
ク勧誘スヘシ本廳ニ於テモ爾後時々調査員
ヲ各縣ニ派シ兩國學堂ノ生徒數等ヲ調査セ
シメテ其ノ阻止成績ノ如何ニ依リ賞罰ヲ
定ムヘキヲ以テ各縣教育局ハ本令ヲ遵奉シ
之ヲ阻止ニ努ムヘシ

二月二十二日遼寧省政府ノ日本文化施設調

(0590

S. 1.1.1.0 - 64

480

(0591

S. 1.1.1.0 - 64

479

命令

日本文化ノ侵入ハ我國家存亡ニ繫ル重大問題ニシテ之ヲ容ルルハ幸福ヲ圖ルモノニ非ス人材ヲ養成スルコトハ重大ナル文化使命ナルヲ以テ一氣貫徹以テ國家ヲ鞏固ニスヘキナリ茲ニ東三省ハ日本ニ接シ日本カ設クルトコロノ學校多ク之等ハ中日青年ヲ養成シ以テ日本文化ヲ中國ニ注入セシメントシツヘアリ中國ニシテ若シ此終放任シ置カハ遂ニハ一般青年ニ日本魂ヲ造成シ中國ヲ掌握スルコトトナルニ至ルヘシ此處ニ於テ日本經營學

一〇二

校ヲ調査スルノ必要ヲ生ス依テ本文到着ヨリ半ヶ月以内ニ於テ次ノ各項ヲ詳細調査シ本政府ニ報告スヘシ茲ニ令ス

- 一、學校ノ名稱
- 二、學校ノ等級
- 三、學校ノ種別
- 四、學校ノ所在地
- 五、學校ノ校舍
- 六、學校ノ設備
- 七、校長ノ氏名及出身並末滿年月日
- 八、教員ノ人数

九、日本生徒ト中國生徒トノ比例

一〇、日本生徒ノ氏名年令

一一、年末ニ於ケル日華兩方生徒ノ轉校状況

一二、授クル所ノ華文課程内容

一三、此ノ外一切ノ説明

三、三月十六日遼寧教育廳ノ日本文化侵略防止

訓令

日本ハ産業經濟交通文化等各侵略ニ寧日ナ
キ狀態ナルカ就中文化ノ侵略ハ人民ノ思想ニ
大ナル影響ヲ及ホシ國家ノ基礎ヲ危クスルモノ
ニシテ寸時モ忽ニスヘカラサルハ言ヲ俟タサル

處ナリ而モ日本ハ各學校ニ對シ華語ヲ正科
トシテ之ヲ課シ專ラ文化侵略遠大ノ危計ヲ廻
シツ、アリ然レテ文化侵略ノ主ナルモノハ教育
施設、病院政策言論機關等ノ各種ニ分レ居
レルモ教育ハ我中國子弟ノ思想侵蝕ヲ計リ
言論機關タル日本人經營ノ漢字新聞ハ我國
内ノ紊亂ヲ煽動シ病院ハ人類愛ヲ標榜シテ
侵略ノ器トナスカ如ク各種ノ手段ヲ講シツ、アル
ヲ以テ斯ル文化ノ粹ノミヲ謳歌シ侵略ノ民ニ
陷ラシメサル様防止警戒スヘシ此ニ令マス

四、四月中遼寧教育廳ノ日本經營學校ニ中國

(0594

S. 1.1.1.0 - 64

484

0595

S. 1.1.1.0 - 64

483

子弟ノ入學禁止ニ關シ各省宛訓令
 日本人カ東省滿鐵沿線及延吉等ニ設立セル學
 校ニ於テハ種々ナル方法ヲ以テ國內ノ愚民子弟
 ヲ利誘シテ入學セシメ而シテ其ノ課本及教材
 思想等ハ純然タル日文及殖民地ニ對スル教
 育策略ヲ以テ教授シ居ルモノナルカ國民ハ之ニ
 愚蒙セラレテ子弟ヲ入學セシメ居ル者甚ク多
 ク而シテ之カ久シクシテ文化侵略トナリ甚シキニ
 至リテハ政治經濟武力ノ侵略トナリ故ニ之ニ
 對シテハ嚴重禁止セサルニ於テハ遂ニ滅國亡種
 ノ禍ヲ來スコトトナルニ依リ本部ハ既ニ數度嚴

一〇、四

禁方ヲ命シ置キタル處ナルカ茲ニ密探ノ報告
 スル處ニ依レハ滿鐵沿線各縣ニ於テハ日人經
 營ノ學校ニ入學シ居ル者頗ル多ク此ノ點ヨリ
 見レハ該省教育廳ニ於テハ禁止命令ヲ玩視シ
 居ルモノト思慮セラル、ニ付再度嚴命ノ上
 之ヲ查禁セラレ各縣教育局ヲシテ取締ヲ為
 サシメ結果隨時報告セラルヘシ此ニ令マス

コト能ハズ最近ニ至リ外貨ノ輸入ハ從前ニ比シ其
レキモノアリ然レ共近來幸ニシテ關稅自主トナ
リ各種ノ稅收ハ當然之ヲ徵收シ嚴重實行スヘ
モノナルニ而モ外國側ニ於テハ暗ニ之ニ抵抗シ交
渉事件醸發スル屢々聞知セリ之ニ對抗セントセ
ハ凡テ外貨ヲ國內ニ輸入スル者ニ對シ數倍ノ
徵稅ヲ爲スニ如ハナレ然ル時ニ將來販路ノ途ヲ
ク國貨ハ必然愛用セラレ利權モ亦流出スル
至ラス之レ則チ外貨排斥ノ善後策ナリ故ニ秘案
ヲ嚴守シテ外國側ノ動靜ヲ視察シ隨時報告
スル様管下各縣ニ通令スヘシ云々

S. 1.1.1.0 - 64

488

0599

第十一國貨提唱日貨排斥ニ關スル訓令

一月中遼寧省政府ノ各縣宛外貨排斥ニ關スル
通令

國民政府ノ密令ヲ奉スルニ曰ク國家ノ富強ハ實
業ノ提唱ニ如クハナク而モ實業振興スルトキハ
利權ハ當然發達スルモノナリ我國ハ數百年來人
民愚鈍ニシテ利益ヲ外溢セシメ利權ヲ喪失セ
リ故ニ外貨ハ毎年國內ニ充滿シ利權ノ流失スル
コト甚大ナリ之誠ニ痛心ニ堪ヘス而シテ中華民
國成立以來二十年ノ今日利權ハ依然トシテ流出
シ多少減少セル傾向アリト雖之ヲ杜絶セシムル

S. 1.1.1.0 - 64

487

0598

依テ各縣長ニ於テハ秘密ヲ嚴守シ且察知セシ情
況ヲ隨時報告スヘシ切ニ此ニ令ス

ニ二月二十三日遼寧農礦廳ノ日本製紙輸入驅逐訓令
近年日本ノ紙類ハ輸入品中ノ重要商品トナリ昨年ハ
銀價暴落ノ影響ヲ受ケタリト雖モ其ノ紙類ノ我國
ニ對スル輸入ハ愈々増加ノ傾向ヲ示セリ而シテ日本
政府ニ於テハ中國ニ輸出スル日本紙ニ對シテハ一磅ニ付
一分五厘ノ獎勵金ヲ與ヘツツアレハ日本紙ノ價格ハ
又特別ニ減價ナリ為ニ其ノ中國ニ對スル輸入ハ益々
發達ス最近ノ調査ニ依レハ民國十九年度日本紙
ノ上海一ヶ所ニ輸入サレタルモノ已ニ一億噸ノ巨額ニ

ニ一、ニ

達シ外國紙輸入總數ノ百分ノ四十四ヲ占ムルニ至レリ
之レ畢竟スルニ我國製紙業ノ發達セサルカ為ノニシ
テ利権ノ外溢ヲ防止スル為ノ今後各製紙業者ニ
對シ努力研究シテ務メテ我國ノ紙業ヲ發達セシムル
様督勵セラレ度

三 四月中遼寧省政府ノ各縣政府宛外貨排斥國貨提
唱ニ関スル訓令

國民政府ノ訓令ニ曰ク我國ハ近來百貨ニ乏シク工業
衰微レツツアリ極力之ヲ提唱セサルニ於テハ國本ヲ
固ムル能ハス殊ニ外國ニ輸入セラルル外貨多クシテ
之カ害亦尠カラス歐洲戰後ハ商戰日ニ烈シクシ

S. 1.1.1.0 - 64

490

0601

S. 1.1.1.0 - 64 489

(0600

テ西ニハ英米アリ東ニハ日本アリテ毎年輸入スル
貨物数千萬ヲ下ラス依テ若シ之カ對策ヲ講セザ
ルニ於テハ其ノ侵略ヲ受ケテ將來我膏血ヲ吸盡セ
ラルコトトナルナリ查スルニ我國人ハ人民多シトセス
出品亦少シトセス物質亦乏シキニ非ラス土地亦小
ナリトセサルモ此ノ競争ノ際ニ在リ提唱改良ヲ加ヘ
サルニ於テハ實業ノ振興期シ難ク倘シ此ノ儘外國
人ノ蹂躪ニ委シ置クトキハ實ニ危險ナリ果シテ外貨
排斥ヲ實行スルコトトセハ須ク特別ノ提唱辦法ヲ
以テセサルニ於テハ之カ効果期シ難ク若シ我國ノ出品
良好ニシテ低廉ナルニ於テハ外貨ハ自然ニ消滅シ國

S. 1.1.1.0 - 64 491

0602

貨ハ自然ニ自振スルコトトナリ國貨提唱ノ方法ト
シテハ別ニ善策ハナキモ唯獎勵ノミニ在ルナリ依テ此
通令後凡ソ我國人民ニシテ何種ノ物品ノ發明ヲ論
セス精巧ナルモノニハ須ク優先權ヲ與ヘテ登録專賣
ヲ為サシムル外三年間ハ税金ヲ免スルコトトスルニ付
此等ノ研究ヲ為ス者ニハ先ニ製成標本ヲ添ヘテ地
方官府ヲ經テ政府ニ報告シ登録スルコトトナス依
テ各省政府ニ於テハ此ノ旨所屬ニ通令知悉セシメラレ
度旨申越シアリタルニ付訓令ス以上
四月中関原縣長ノ國貨提唱日本人驅逐ニ関シ外
交協會ニ聲明

S. 1.1.1.0 - 64

492

0603

- (一) 國貨提唱ニ當リ徹底の外貨ヲ排斥ス
- (二) 利権ノ挽回ニ萬難ヲ排ス
- (三) 鮮人トノ土地耕作契約ハ一律ニ之ヲ禁止ス
- (四) 既契約ハ速ニ破約スヘシ
- (五) 城内屯村何ヲ問ハス日本人ニ家屋ヲ貸與スルコトヲ禁ス
- (六) 既契約ハ速ニ破約セシムルコトヲ令ス
- (七) 日鮮僑民ノ禁制品販賣ハ徹底の取締ヲ勵行ス
- (八) 商農民ニシテ令ニ違背シ目的遂行ニ努力セサルモノハ最罰ニ處ス

五五月中遼寧教育廳ノ各縣ニ對シ各學校ノ外貨使

二二四

用禁止方通令

國貨提唱ノ件ニ關シ各學校學生々徒ハ一律ニ國貨ヲ使用シ利権回收ニ努ムヘキ旨ニ令五申屢ニ通令シタル處ナルモ今日尚之カ實績與テラス其被服材料ハ固ヨリ各種物品ハ總テ之ヲ外貨ニ需シ居リ從テ利権ハ外溢シ國貨ハ甚大ナル影響ヲ蒙リツツアル狀態ナルハ誠ニ慨嘆スヘキ事ニ屬シ國貨提唱上何等ノ效果ヲ收メ居ラス依テ本廳長ハ茲ニ重テ通令ス各縣教育局ハ本令シ各學校ニ轉令シ一律ニ外貨ノ使用ヲ禁止シ以テ國貨提唱ノ實ヲ擧グルニ努ムヘシ

S. 1.1.1.0 - 64

494

0605

S. 1.1.1.0 - 64

493

(0604

商會究訓令

六月中遼寧實業廳ノ外貨排斥ニ関シ各縣政府並各
近來國貨ノ振ハサルハ皆外貨ノ輸入サルルモノ甚多
キ為ニシテ未タ排斥ヲ實行セサルト共ニ我國ノ商家
力提唱ニ努メサル故ナレハ曾テ三令五申國貨ヲ提
唱シタルモ各商ハ依然勿心聞ニ附シツアリ

若シ各商ニシテ堅志國貨ヲ提唱セハ舶來品ハ自
然無形中ニ消滅スヘキニ付本廳ハ之ニ鑑ミ外貨排
斥ヲ實行セントセルモ根本計畫ニ依ラサルハカラサルヲ
以テ令シテ今後各該所ニ於テ毎日販賣サルル
外貨ヲ逐一調査シ種類價格及販路ヲ詳細具報

一五

ヤシメ以テ考查ニ資セントス然レテ若シ外貨ニシ
テ逐日販路漸減セハ論ナキモ若シモ逐日増加セハ
必ス所轄商會ニ責ニ問フヘク該縣及商會ニ令マス
モノニ付切實ニ調査具報シ些モ忽ニスヘカラス此ニ令ス

七八月一日省政府ノ各縣政府究日貨排斥ノ為ノ融
通資金貸出ニ関スル通令

國民政府ニ於テハ日貨排斥國貨提唱ヲ常ニ一般
民衆ニ奨勵シツツアルモ狡猾ナル日商ハ利慾ニ迷ヘル
華商ト謀リ依然日貨ノ販路ヲ擴張シ居レル為ノ其
ノ都度貨幣ヲ外國ニ吸收セラレ中國ノ財源益々欠
乏シ我財界ヲ窮迫ニ導キ遂ニハ國家ノ滅亡ヲ來サ

ントスルノ現況ナリ故ニ國民政府ハ之カ對策トシテ今由中日商民ノ取引最ニ頻繁ナル東北省ニ現大洋五百萬元ノ資金ヲ融通シ日商ト取引關係ナキモノ又ハ日人經營銀行ヨリ資金ノ融通ヲ受ケサル商民ニ限り之ヲ貸出シ以テ國產品ノ販路ヲ擴メ根本的ニ日貨ヲ排斥セシメ一般民衆ニ自國生産品ノ愛護ヲ宣傳シ國貨提唱ヲ實現スルコトトナリタルヲ以テ各縣商民ニ對スル右資金融通ハ各縣長責任ヲ以テ日商及日銀對華商關係ヲ嚴密調査シ何等關係ナキ商民ニ之ヲ貸與スヘシ

八八月中遼寧省政府ノ各縣政府宛日貨檢查ニ關ス

二一六

ル訓令

行政院ノ四日ノ電命ニ曰ク查スルニ日人ハ惡心ヲ蓄ヘ隙ニ乘レテ之ヲ逞フセントシツツアリテ薜篤弼、陳友仁、劉紀文等モ亦目下日本ニ在テ活動シツツアルコトニ依ツテモ知ルヘシ目下各地ニ於ケル及日援僑運動等モ慎重ニ事ヲ為スノ必要アリ若シ中央地方ノ党政各界ノ步調カ齊一セサルニ於テハ却テ人ニ乘セラレテ益ニ紛糾スルコトトナルナリ況ヤ反動ノ後カ何時此ノ中ニ混入煽動シテ意外ノ風潮ヲ發生セシムルヤモ知レス而シテ其ノ各地ニ於テ現ニ訂定シ居ル辦法中容易ニ紛糾シ易キモノハ檢

査ト處罰ノ兩事ニ在ルヲ以テ今回中央ハ各地党部ニ
通令シテ日貨ノ検査ニ對シ違法ノ處罰ヲ為サザル
様命シ置キタル事ナルス今又國民政府ヨリノ命ニ依
リ更ニ電命スル次第ニ付各地方政府ハ所屬ニ密令
シテ特別注意ヲ為シ若シ不法行為アリタル場合ニ直
ニ之ヲ取締リ以テ反動流ニ利用セラレサルコトニシ而
シテ其ノ辦理情形ニ就テハ隨時報告スヘシトノコト
ナリシニ依リ此ノ旨直ニ省党務指導委員會ニ命
シテ各民衆團體ヲ監督シ隨時指導セシムルコトナ
シタル外茲ニ本件ヲ訓令スルニ付各該縣政府ニ
於テハ右ニ依リ辦理セラルヘシ

S. 1.1.1.0 - 64 499

(0610

九、九月十二日鐵道部ノ日本炭抵制ニ關シ各鐵路局

究通牒

上海市各界反日援僑委員會ヨリノ電報ニ依レハ
今次日本ハ萬寶山事件ヲ藉リ韓民ヲ使嗾シ激
烈ナル排華ヲ為シ僑胞ヲ殺戮シ慘酷ヲ極メ全
國民衆ハ唇亡齒寒ノ厄ニ遭ヒ一致奮起シ共同反
日經濟絶交勵行ニ必死奮闘中ナルカ惟ニ日本
ト貿易断絶ハ臨機ノ計ニシテ積極的ニ工業ヲ振興
シテ始メテ永遠ニ日貨ヲ抵制スルニ足ル而シテ我
國ノ石炭ト原料トハ工業發展ノ基本要索ナレハ之
力輸送ニハ當然便宜ト割引ヲ與ヘナハ日本炭及其

S. 1.1.1.0 - 64

500

(0611

他ノ原料ノ輸入ハ順次其ノ跡ヲ我中華地境ニ絶ツ
能ハサル迄モ其ノ輸入ノ数量ハ激減スルコトヲ得一
舉兩得タリ關係會第五次常務委員會議ニ於テ
右決議ヲ為シ貴部ニ電請スルヲ以テ御採用相成度
云々トアリ右請願ノ各節ハ國炭提唱及日本炭輸入
抵制ノ目的ナレハ當然協助ヲ與フヘキモノナルヲ以
テ各鐵路管理局ニ通令スルノ外吉敦吉長鐵路局ニ
令スルヲ以テ國產炭ヲ輸送スル者ナル時ハ其ノ都度
配車其他ノ便宜ヲ與ヘラレ度シ

二一ノハ

S. 1.1.1.0 - 64

501

(0612

第十二其ノ他排日ニ関スル訓令

二月十五日支那中學校長ノ排日訓示

本溪縣立太子河中學校長李英麟ハ冬期休暇實施

ニ當リ全學生ニ對シ左記各項ノ排日訓示ヲ與ヘタリ

一 休暇中諸學科ノ復習ヲ要ス

二 試ニ日本人ノ對東北橫暴史ヲ見ヨ

三 我國ハ將來南滿鐵道ヲ回收セハナラヌ

四 附屬地内日本警察ヲ撤廢スヘシ

五 高價ナル日本品ヲ購用スルナ自國品ヲ購用スヘシ

六 前各項ハ飽迄實行セサルヘカラス

七 排日ハ學生ノ責任テアルコトヲ忘ルヘカラス

ニ七月十八日撫順縣下各學校教職員會開催席上撫

順縣教育局長ノ為シタル講演要旨

吾人ハ日本帝國主義者ノ我東北ハ樞要地區ヲ侵畧

シテ居ルコトヲ知ソテ居ルテアラウ即チ滿鐵會社關

東廳領事館關東軍司令部及滿蒙研究會カ日本

帝國主義ヲ背景トシテ組織セラレテ居ルノテアル

ソレテ我東北ニ手ヲ擴ケテ色々ノ策謀ヲ繞ラシ之

等ノ團體ノ支援ヲ受ケツツアル各種民衆團體ハ

數十種ノ多キニ達スルノテアル即チ全滿日本人士

會、青年聯盟、商工會議所、實業協會及全滿日本

人自主同盟等ニシテ之等ノ團體ハ何レモ中國ノ國

情ヲ研究スル使命ヲ以テ積極的ニ活動シテ居ル而シテ中國侵略ヲ鼓吹實行シ所謂明治大帝ノ遺セル大陸政策ヲ茲ニ實行シツツアリ
諸君此ノ事實ヲ何ント見ルヤ吾人ハ現中國ノ樞要ナル地位ニ在リ且ツ救國児ノ教育ニ携ハリツツアル教育者ニ非ラスヤ然ラハ前記之等各團體ノ内幕ヲ探究シ以テ其ノ内容ヲ一般民衆ニ知ラシメ學童ノ教育ニ當ラレ度シ云々

三八月十六日撫順教育局ニ於テ省政府農礦廳技士崔紹彭ノ爲レタル排日講演

我中國ニ在リテ東三省ハ肥沃ニシテ將來有望ナル

ニニニ

コトハ周知ノ處テアル然ルニ最近日本帝國ハ滿蒙政策、大陸政策ヲ實現シ侵略スルコト急ナリ我同胞ハ一日モ早く覺醒セサルヘカラス之カ侵略ノ第一手段トシテ最近ニ於テハ鮮内華人慘殺事件、萬寧山事件等何レモ帝國主義日本ノ使嗾ニ依リ無智ナル鮮人ノ暴動ヲ起セル處ニシテ其ノ慘狀見ルニ忍ヒス聞クニ難堪恨ムヘンハ日本ノ帝國主義ナリ我同胞ハ茲ニ於テ日本ト經濟絶交ヲ爲シ以テ復讐セサルヘカラス即チ

一日貸ヲ使用セサルコト

ニ日本人ニ國貨ヲ供給セサルコト

三 日本人ト共同工作ヲセサルコト
等ヲ口號トシ以テ現在受ケツツアル中國ノ恥辱ヲ
雪カサルヘカラス

若シ一般民衆カ此ノ秋ニ當リ覺醒セサレハ我中國
ハ彼、印度、如ク他國ノ奴隸トナルコト明カナリ
我同胞ヨ團結シ而シテ外敵ニ當レ云々

四 八月中國政府ヨリ各省政府宛日本ヨリ輸入ノ競
馬遊戲版ト稱スル賭具販賣嚴禁方通令

近來日本商人ハ我國人民ノ愛好スル賭博行為即チ
射倖心ヲ利用シ競馬版ト稱スル奇想天外ナル賭具
ヲ製造シ專ラ我國ニ輸出シ以テ相當ノ利益ヲ獲

三ノ三

得セント計畫シ既ニ上海天津廣州等ニ續々輸入
シ來リ遍ク販賣シツツアル状態ナルカ抑々談賭具
一般商民シテ益々弊害ヲ招來セシムルノミナラス此
ノ儘取締シ為サステ放任センカ將來全國的ニ
蔓延シ種々惡影響ヲ醸生セシムルハ毫モ疑フ容
レサル處ナルヲ以テ速ニ之カ販賣ヲ嚴禁スヘシ

五 九月七日遼寧省政府ノ勅匪方策ト日本人注視
方各縣政府宛訓令

累年夏季ニ於テハ匪賊ノ跳梁甚レク殊ニ本年
滿鐵沿線各縣下ニ於ケル匪賊ノ勢力ハ意外ニシテ
例年ノ比ニアラス最近高粱繁茂期ニ入り益々猖

獺ヲ極ノ而^其行動敏ニシテ到ル處ニ於テ掠奪暴虐ノ限ヲ盡シ殆ト神出鬼没ノ状態ナルカ本春以來各縣ニ於テハ戸ロヲ精査シ游民ヲ掃蕩レ極力警備ノ完璧ニ努メル處アリタルヲ以テ断シテ匪賊事件發生ヲ許ササル筈ノ處各縣下匪賊ノ勢力力日々ニ熾烈トナリ非常討伐ニ苦心シ居レルハ畢竟スルニ其ノ背後ニ日本人アリテ暗ニ之ヲ援助シ武器彈藥其ノ他ノ供給等ヲ為シ居レル結果ナルヘシ今般之カ根本的勦滅解決ヲ計ルヘク各縣戸ロヲ更ニ嚴重調査シ浮浪游民ノ檢舉ニ努メ外國人ニ對シテハ軍器密輸ノ有無無職、浮浪

ノ徒輩ノ策動並林示制品ノ取扱等詳細探查シ萬一斯ル不法行為ヲ發見セハ實状ヲ明ニシテ交渉ヲ速ニ開始シ日本領事ヲシテ之等不良徒輩ヲ退去セシムルコトニ努メ以テ國家人民、地方治安ノ攪乱ヲ防止スヘシ